

第7回歴史&ハイキング愛好会実施報告

当番世話人 小口健一郎

平成27年5月16日、小雨が残る東急等々力駅に参加者20名が参集、コース案内のあと、新会員の浦上さんのご挨拶、小澤さんからは早くも7月の例会案内を頂き、また、六角さんより、日経の記事、「ゴールデンウィークにぜひ行ってみたい東京地区」に本日コースの等々力溪谷が第1位にランキングされている旨の紹介のあったあと出発しました。

駅から歩いてわずか5分、溪谷入口を降りるとそこは静かな大自然、新緑の中に、冷涼な空気残り都会の喧騒とは全くかけ離れた景色が広がりました。皆さん健脚で遊歩道を早足で駆け抜け、あっという間に中間点の等々力溪谷第三横穴へ、代表世話人のもっとゆっくり楽しみながら、との掛け声もむなしく、およそ10分で不動の滝に到着しました。皆さん現役時代の癖が抜けきれない様で。ここで、不動の滝と等々力不動尊周辺をゆっくりと散策し、等々力溪谷日本庭園を経て5世紀初頭に築かれたという野毛大塚古墳を見学の後、雨のすっかり上がった野毛公園でそれぞれ持ち寄ったお弁当に舌鼓を打ちました。

午後は、当初予定の多摩川ベリウォーキングを変更し、上野毛の高級住宅街を通って五島美術館を目指しました。当美術館は東急建設創業者五島慶太のコレクションを展示した美術館で、丁度今日から「近代の日本画展」が開催されており、横山大観、川合玉堂など明治から昭和にかけて活躍した日本を代表する日本画家の生の作品を堪能しました。

五島美術館には広大な日本庭園があり、自然環境はそのままに、石塔、石灯籠、石仏が配置されています。この庭園は多摩川が侵食してできた「国分寺崖線」上に位置する傾斜地で、なんと高低差35メートルのいわば崖にある庭園ですが、会員の皆さんは、これをものともせず崖下にある蓬莱池や赤門まで降り、崖上にある美術館本館まで平気な顔をして戻ってこられました。

五島美術館を後にし、上野毛駅で解散となりましたが、大井町で15名が参加しての大々的な反省会（懇親会）となりました。皆さんの健脚と若さと健啖ぶりに当番幹事は大いに感動を覚えた1日でした。

参加者（敬称略）

岩崎正憲、植野郁夫、浦上宣明、遠藤哲也、小澤敏宣、川上昇、川股賢三、木頃勝紀、白岩仙一、住田勝治、西方義方、平木行雄、平木七重、古屋榮三、牧田賢二、宮地秀幸、山田昌之、湯浅壽夫、六角学、小口健一郎

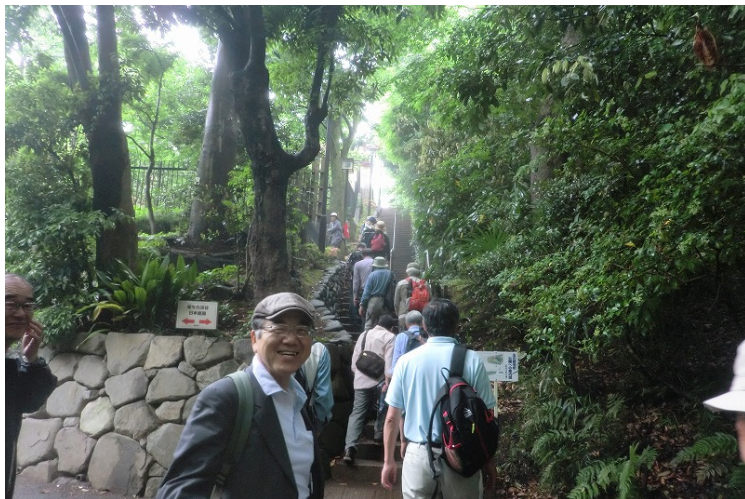


＊ 東急等々力駅前で小口世話人より、本日の散策コースの案内



＊ 谷沢川に架かる「ゴルフ橋」脇の階段を下りて、**溪谷散策路**へ





* 五島美術館に向かい「近代の日本画」を観賞



* 五島美術館 日本庭園散策

